

## チャレンジクラブ実施における改善例

### ○ 良い姿勢ができない場合の改善例

- ・ Aくんは、行動練習をしてもすぐに姿勢がくずれてしまい長続きしない。

#### ＜改善前＞

T2は席の後ろから賞賛によるフィードバックを行った。T1は姿勢が良いと思った児童を2～3名褒めた。



#### ＜改善後＞

T2は一番最初にAくんに賞賛のフィードバックを行う。  
T2のフィードバック終了後、T1は全員の前でAくんの姿勢の良くてきているところを1番に思い切り褒めるようにした。

クラブの際には、クラブで使用している教室の椅子を使用していた。  
Aくんは、身長に合わない高さの椅子に座っていたため、足が床につかない状態であった。



Aくんが座って足が床につく高さの椅子を全員分用意し、事前に並べておくようにした。

行動練習をしてもAくんは良い姿勢になかなかならなかったため、「背筋をのばすよ」と穏やかに注意をした。しかし、良い姿勢にはならなかった。



行動練習の前に「全員の行動が一致したら、次の活動に進みます」と伝え、もう一度言行一致訓練を行った。それでも良い姿勢にならなくても、注意はせず次の活動に進んだ。  
(繰り返し言行一致訓練を続けたり注意をしたりすると、さらにモチベーションがさがってしまったり、良い姿勢ができていない個人への攻撃が出てくる可能性も出てくるためである)

### ○ ゲームをするときの改善例

- ・ ドッチボールやトランプなどのゲームをするによくトラブルがおこっていた。

#### ＜改善前＞

トランプ等の室内ゲームは、グループを2～3つにわかれて、児童だけで行った。



#### ＜改善後＞

各グループに教員が1名ずつ入って児童同士の仲介役やルールの一統等を行った。

## ○クラブが始まるまでの時間のトラブルを減らすための改善例

- ・クラブが始まるまでの時間に徐々に集まってきた児童同士で遊んでいる間にけんかになることがあった。

### ＜改善前＞

クラブ開始の時刻になるまで、集まってきた児童は自由に過ごしていた。



### ＜改善後＞

事前に椅子と机をセッティングし、座席表を黒板に提示して、クラブの教室に入ってきたら、すぐに席に着けるようにした。クラブが始まるまでの時間はフラッシュカードやクイズ、なぞなぞを用意しておき、フリーな時間を作らないようにした。

## ○学習チャレンジの内容の改善例

- ・Bくんは、学習内容が難しいと姿勢が崩れたり、先生を見て話を聞くことができなくなったりする。

### ＜改善前＞

クイズ3の問題  
源氏物語の作者は誰？



### ＜改善後＞

源氏物語の作者は誰？  
1. 紫式部  
2. 赤式部  
\* 答えの選択肢を用意した。

全員、硬筆7級の問題を行った。



6, 7, 8, 9級の問題を用意し、その中からやりたいものを自分で選んでするようにした。  
その他、百マス計算の時は、64マス計算のプリントも用意するようにした。

## ○プリントの配付方法の改善例

- ・学習チャレンジの学習プリントを教員が配付している間にけんかが始まることがあった。

### ＜改善前＞

教員が順番にプリントを配付したり、回収したりしていた。

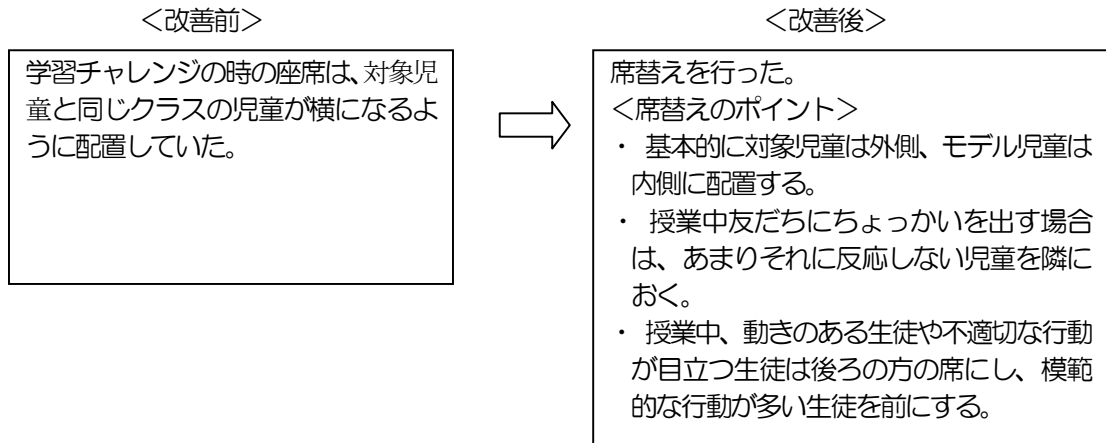


### ＜改善後＞

学習プリント、その他学習に必要な道具は前の机に並べておき、順番に取りにいくようにした。

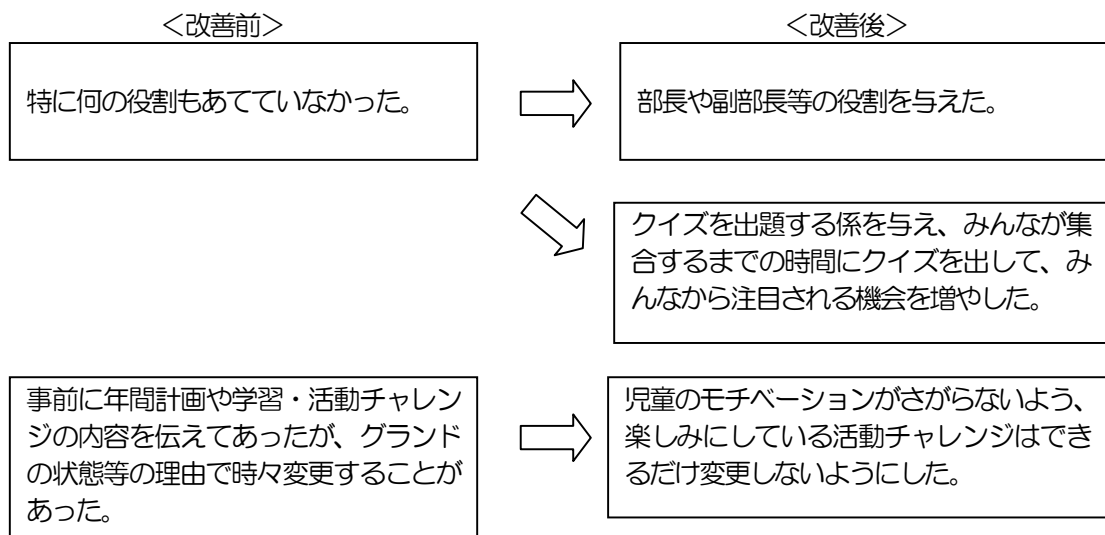
## ○児童同士のおしゃべりやけんかを減らすための改善例

- ・学習チャレンジの途中で隣同士の児童が話をしたりふざけたりして、時にはけんかになることがある。



## ○ チャレンジクラブに参加することへのモチベーションをあげるための改善例

- ・ チャレンジクラブに参加することに対するモチベーションが低い児童があり、イヤイヤ参加しているようにも見える。



\*通常の学級の中では注意されることが多く、肯定的な注目を得られる機会が少なくなりやすい児童に対して、チャレンジクラブの時間にはできるだけ肯定的な注目や活躍の機会を与えることが支援のポイントとなる。